

栄小学校 特色ある教育活動

【ふるさと学習】



5・6年生は、昨年度7月に栄村希少動植物調査員の涌井泰二さん、広瀬明彦さんの指導のもと、学校敷地内に村花であるカタクリの植え付けを行いました。

ひと冬を越し、今年度そのカタクリが開花し、子どもたちと調査員さんが喜び合う様子があります。

栄小学校では、ふるさとに学び、ふるさとに発信する「ふるさと学習」に力を入れて取り組んでいます。栄村の花「カタクリ」の植栽はその一環で、村の希少植物への理解と親しみを深めたいと願い、この活動に取り組んでいます。また、村の調査員さんの指導は、ふるさとの人とかかわる機会としても位置づけています。

希少動植物調査員さんとともに、
カタクリの開花を喜び合う5・6年生

～ 昨年度植え付けの栄村の花

「カタクリ」の開花 ～

令和4年
5月12日



先日5・6年生は、涌井さん、広瀬さんをお招きしてカタクリの観察会を開きました。カタクリの花は散り、実ができたところで、子どもたちはその実を観察しました。「実があつてうれしい」「こうなっているんだ」と言いながら、優しく手で触れる姿がありました。

教室に戻ってからは、開花時の写真をもとに花の観察をしました。カタクリの植生について涌井さんから話も聞き、村花「カタクリ」や村の自然環境への理解を深めました。村の人とかかわりながら、村の自然環境へ思いをやる、そんな機会となりました。

昨年度の取組が文字通り実り、今回の観察会となりました。

カタクリに誘われての産卵か、近くにはギフチョウの卵らしきものも見られます。地面に落ちたカタクリの種はアリが運ぶことも教えてもらい、自然界の動植物のつながりを知ることができました。

「世話を続けたい」と話す子がいて、カタクリへの思いを深める様子があります。ふるさとの自然を見つめ、ふるさとの人とかかわる観察会となりました。

栄小学校 特色ある教育活動

【ふるさと学習】



全校児童による遠足で村内天地地区を訪れ、異学年ペアで竹の子狩りをしました。狩った竹の子は学校に持ち帰り、処理をして、翌日の給食で出してもらいました。

栄小学校は春の遠足として「竹の子狩り遠足」を実施しています。栄小学校の遠足の特徴は、村内の畑で竹の子狩りをすることです。コロナ禍前は狩った竹の子をその場で調理していましたが、今は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、竹の子を学校に持ち帰り、皮をむいて処理し、翌日の給食で竹の子汁として出してもらいます。

竹の子狩りは異学年ペアで行い、異学年児童の交流、かかわりを深める機会になっています。竹の子狩りをした後は、学校まで歩いて帰ります。長い距離ですが、異学年同士励まし合って歩きます。

ふるさとの山で

令和4年

5月19日

竹の子狩りをする子どもたち

～ 縦割りグループで行く

栄小学校の竹の子狩り遠足 ～

竹の子狩り遠足の目標

- ①春の竹林やブナ林に入ることや山道を歩くことで、地域の自然に親しみを持ち、そのよさがわかる。
- ②学年を越えたまとまりで活動することで、仲間と協力して活動するよさがわかる。
- ③竹の子を狩って竹の子汁を味わうことで、地域の伝統的な食文化を体験する。



竹の子狩り

ペアで竹藪をかき分けて竹の子をとる子どもたちの姿がありました。ふるさとでこのような豊かな自然体験ができるのは幸せなことです。体験を通して自然の恵み、栄村のよさを感じることができました。地主さんのご厚意もありがたいです。ふるさとの自然、人とかかわる意義ある活動となりました。

遠足

春の自然を楽しみながら、友達同士支え合って、先生と一緒に、というように、それぞれのやり方、目当てで歩く子どもたちの姿がありました。学校まで歩き切った達成感を味わう子どもたちの姿がありました。

竹の子処理

カッター、皮むき、切る、を分担して竹の子を処理しました。異学年で楽しく会話しながら取り組む様子があり、桐の葉グループ（異年齢グループ）のかかわりが深まりました。今後グループの活動がさらに充実していくことを期待します。翌日の給食では、おいしい竹の子汁に舌鼓を打ちました。



栄小学校 特色ある教育活動

【ふるさと学習】



1, 2年生は、ふるさとの田んぼで、田植え前の代かきを兼ねてどろんこ遊びをしました。生活科の学習です。どろんこ遊びの後は同じくふるさとの温泉、百合居温泉で入浴をして体を温めました。

1, 2年生は水、土、砂、どろんこ遊びが大好きです。そういった遊びは、子どもの五感を刺激し、心の発達を促すといわれます。

今回は活動を発展させ、田んぼでどろんこ遊びをしました。お風呂に入るように田んぼにつかる子、泥をかけあって遊ぶ子、お団子づくりをする子、田んぼの中を走り回る子、水中の生き物を探す子というように、思い思いのやり方で思いっきりどろんこ遊びを楽しみました。

ふるさと栄村の田んぼでの楽しい体験は、ふるさとのよさを感じることに繋がったようです。「初めてやって、すごく気持ちよかった」「田んぼで遊ぶのは楽しい」と話している子がいました。よい自然体験学習となりました。



田んぼでどろんこ遊びをした後は、栄村「百合居温泉」を使わせてもらいました。体の泥を流して、温泉入浴で体を温めました。温泉に友達といっしょにつかる体験は、こちらもふるさとのよさを感じることに繋がるものと思います。

どろんこ遊びで冷えた体を温め、気持ちよさそうに温泉につかる子どもたちの様子が見られました。

地元の温泉とはいえ、百合居温泉に来たことがなかった子が多く、ある子は、「すごく気持ちよかった。また入りに来たい」とうれしそうに話していました。

どろんこ遊びを通して、五感を働かせながら身近な自然とかかわり、友達と遊びを工夫して楽しむ。公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることがわかり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができる。そんな生活科の学習「どろんこ遊びをしよう」になりました。

ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。



ふるさと栄村の自然の中で
思いっきり活動する子どもたち
～ 代かきを兼ねた田んぼでの
どろんこ遊びと温泉入浴 ～

令和4年
5月20日

栄小学校 特色ある教育活動

【異年齢交流学習】



3年生は、5月26日に下高井農林高生（植物科学コース8名）を学校に招き、ともに種ジャガイモの植え付けをしました。

栄小学校3年生と農林高校植物科学コース生の交流は、今年度で3年目を迎えました。昨年度はオンライン交流を交えながら、ともにキッチンガーデンをつくり、野菜栽培の楽しさを味わい交流を深めてきました。

今年度、新メンバーとなった農林高生3年生から、栄小学校3年生との交流を継続したいとの要望があり、それを受けて栄小3年生の子どもたちも、ぜひ今年度も交流したいと気持ちが一致しました。事前にオンラインによる顔合わせで自己紹介をし合い、実際に会うことに期待を高めました。

3年生と高校生が

令和4年

5月26日

ジャガイモの植え付けをしました

～栄小3年生と下高井農林高生の

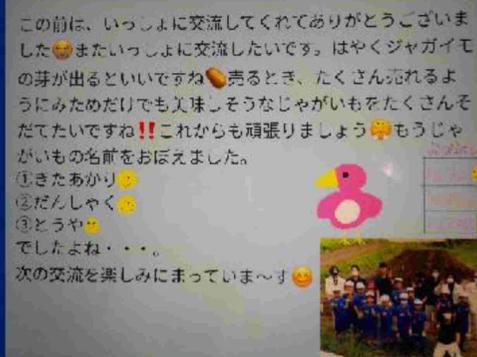
農業を通じた交流の3年目～



今年度は学校近くの畑を借りて、より広い畑でジャガイモを栽培します。今回は初めての直接の出会い、その後植え付けとなりました。

最初に畝をつくり、その後種イモ2個分の深さに穴を掘って、そこに植えていきました。やり方は農林校生が優しく教えてくれて、農作業を高校生から学んでいく子どもたちの姿がありました。

後日、植え付けの振り返りをしました。タブレットに入力していましたが、初めて知ったこと、うまく植えられた喜び、農林校生への感謝のメッセージなどがタブレットの画面にあふれていました。



3年生は野菜作りに親しんできていて、作物栽培に専門の知識をもつ農林高生との交流を楽しみにしています。ジャガイモ栽培を通じた交流は今後も続いていきますが、3年生と地元高校生がかかわり、交流を深めていくことを願います。



栄村立栄小学校
ふるさと学習報告



自分たちで考える「笹探し」

遠くの山々まで見渡せて、広い田んぼのある場所に出ました。「あそこだ！」と声が上がりました。そこには、遠くからでも分かるくらい笹がたくさん生えている場所がありました。それぞれで笹を十分に採ることができ、景色を眺めながら帰路につきました。



作業場所や必要なものを相談し、家庭科室で作業を行いました。笹を茹でたり水分を拭き取ったりする作業を分担して行い、冷凍庫に入れる所まで進めることができました。途中で困ることがあっても投げ出さず、試したり友だちに相談したりして乗り越えようとする姿がありました。そんな力がじわじわと、他の活動にも響いてきています。

笹の冷凍保存に挑戦

先週採ってきた笹を、冷凍して保存することにしました。土日にiPadで調べてきてくれた子がいて、それを最初みんなで見て内容を確認しました。宿題にもしていなかったことですが、「自分たちのために」と考えての行動で、みんな感謝をしていました。



笹をめぐる活動

4年生は5年生とともに、もち米づくりに取り組んでいます。そんな中で子どもたちが興味をもったのが地域の伝統食「ちまき」です。ちまきについてインターネットや図書、お家の方にインタビューをしながらわかってきたのが、ちまきをくむ笹の存在です。

ここでは4年生の笹をめぐる活動を紹介します。



4年生
総合的な学習の時間



栄村立栄小学校
ふるさと学習報告



栄小学校はふるさと栄村について調べ、知る、ふるさと学習に力を入れています。5年生は栄村の温泉に目をつけました。苗場山麓ジオパークに属する栄村は温泉が多く、それぞれ個性のある温泉が目立ちます。5年生はそれら温泉を実際に訪れ、地域の人に話を聞いたり、五感を使って調べたりし、調べた結果をパンフレットにまとめています。



温泉調査と

パンフレット作り

5年生は栄村の温泉を調査し、調査内容をパンフレットにまとめ、村内外にアピールしようと活動しています。7月25日には、秋山地区の雄川閣、のよさの里、切明温泉の3カ所を訪れ、温泉調査を進めました。一学期終わりに、二学期へつながる充実した調査活動となりました。



水質や温度の調査だけでなく、管理人さんへたくさん質問をし、温泉の特徴やよさについて学びました。その中で、雄川閣はジビエ(熊肉・猪肉・鹿肉)のしゃぶしゃぶがおすすめなこと、のよさの里は鳥甲山を見ながらキャンプを楽しむことができることなど、温泉や施設ごとの魅力をたくさん知ることができました。のよさの里では、ダッチオープンで焼く鳥の丸焼きがおすすめメニューだそうです。

一日の中でいくつかの温泉を訪れることで、それぞれの施設の違いやよさを実感できました。栄村に住んでいても秋山地区には来ることは少ないという声が多く、自分たちの暮らす栄村のよさを知ることにつながる機会となりました。



5年生
総合的な学習の時間



栄村立栄小学校
ふるさと学習報告



地域の芸能を学び 地域に披露する

～栄村小中合同音楽会

オープニングの6年生「栄小太鼓」～

栄小太鼓

6年生は栄村小中合同音楽のオープニングで、和太鼓の演奏を披露しました。

今年度、総合的な学習の時間と音楽の時間で、地域の芸能「栄ふるさと太鼓」を学びました。音楽会の演奏はその成果の披露の一環です。

地域の芸能を学び、指導者の島田美香先生との絆も生まれました。有意義なふるさと学習が展開されています。

地域の芸能を

自分のものにする

音楽会では、自分たちの太鼓を「栄小太鼓」として、「私たちの音を栄村に響かせよう」のテーマで勇壮な、元気いっぱいの和太鼓を披露しました。会場の体育館に太鼓の音が響き渡りました。

かかわる人の

気持ちがつながる

指導者の島田美香先生には、演奏を会場で応援してもらいました。担任と音楽専科は子どもとともにステージに立ち、達成感を共有しました。参観の保護者の中には「栄ふるさと太鼓」に所属していた方もいて、子どもたちの演奏を懐かしく見てもらいました。また、6年生の太鼓を見る下級生の眼差しには、その迫力と勇壮な姿にあこがれの気持ちを感じられました。

6年生

音楽 総合的な学習の時間



栄村立栄小学校
ふるさと学習報告



アーティストさんと 温泉染めに挑戦！

5年生は栄村の温泉を調査し、村内外にアピールしようと活動しています。

11月15日には、温泉をきっかけとして、行橋智彦さんとのコラボで温泉染めに挑戦しました。行橋さんは温泉染めのアーティストで、栄村の温泉で行橋さんと5年生がつながりました。

村内の温泉と草木を使った染め物への挑戦でした。



5年生が温泉調査について、自分たちでまとめた巨大パンフレットをもとに発表したところ、栄村の温泉をくまなく調べたその調査力に感心し、行橋さんはたいへん喜んで聞いてくれました。

その後、いよいよ温泉染めに挑戦しました。村内5種類の温泉と、セイタカ、ブナの葉、ホオノキ、ユキツバキといったこちらも村内の草木を組み合わせる煮沸しながらの染め物です。

温泉と草木の組み合わせによって色合いが変わるから不思議です。どんな色が出るか、興味津々に観察しながら布を煮込む5年生の姿がありました。

授業の終わりには、「ユキツバキと温泉で染めたら、ピンク色になってきれいだった」との感想が聞かれました。「冬には栄村にスキーに来てください」との児童の誘いに、「絶対来るよ。また会いましょう」との行橋さんの言葉がありました。

温泉をきっかけとして、人とつながる5年生の姿があります。



5年生
総合的な学習の時間



栄村立栄小学校
ふるさと学習報告

6年生は11月16日、飯山市の阿部製紙さんで和紙を漉く体験をしました。漉いた和紙は時間をかけて乾燥させ、卒業証書とします。卒業式では、6年生は自分で漉いた和紙の卒業証書を受け取ります。

阿部製紙さんで作られるのは、長野県北信地方に伝わる「内山紙（うちやまがみ）」で、地域の伝統工業です。豪雪地帯の冬の副業として、内山紙の紙漉き技術は現在まで発展してきました。

内山紙の特徴は、楮（こうぞ）を100%原料としていることです。通気性や透光性に優れ、強靱で保温力もあるということです。

作業の合間には、職人の阿部さんから内山紙に関するお話を聞かせていただき、理解を深めました。

「初めてやって、すげた（木の枠）を横に振るのが見ているより難しかった」「職人さんの技を近くで見て、自分でもやることができよかった」と6年生の感想がありました。

ふるさとに伝わる伝統技術の貴重な体験になりました。



地域伝統の技術を学び 自分の生活に活かす

～6年生の手漉き和紙体験

「内山紙」の卒業証書づくり～

6年生

総合的な学習の時間



1年生は保育園年長児さんを学校に招き、「どんぐりまつり」を開きました。年長児さんと仲良くなりたい、楽しんでほしいと計画したおまつりです。

会場の体育館には、1年生と園児さんの楽しげな声が響きました。

ひまわり組のみなさん どんぐりまつりを楽しんでね ～1年生と保育園年長児さんの交流～

令和4年
11月22日



事前に渡しておいたドングリをお金に見立て、入園料を受け取り遊びのコーナーを楽しんでもらいました。

各コーナーでは遊び方の説明をしたりプレゼントを渡したり、応援したりして園児さんとかかわる1年生の姿が見られました。



「ひっぱりゲーム」は、ビニールひもを引いた先に景品がつけられています。「たからつりゲーム」は、竿で折り紙を釣り上げます。「ボーリング」はペットボトルに水を入れてピンにしています。「コロコロゲーム」はトチの実を転がして点数を稼ぎます。「まとあて」は景品に金メダルが用意されていました。

それぞれのコーナーで園児さんに楽しんでもらいました。



1年生からは、「ひまわり組（年長児）さん来てくれて、いろいろなお店で楽しんでくれてうれしかった」といった声がありました。人の喜びを自分の喜びとする、そんなどんぐりまつりの交流になりました。

栄小学校 特色ある教育活動

【ふるさと学習】



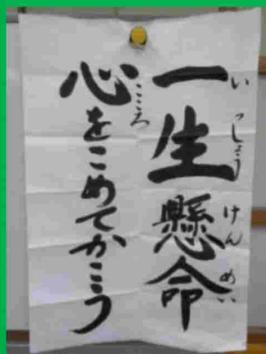
栄小学校では、年2回のクラブ活動を地域講師からふるさとの文化を学ぶ機会としています。3～6年生は、2回のクラブであんぼ、絵手紙の両方を体験します。

あんぼは地域の伝統食です。絵手紙は地域で盛んに行われていて、それぞれ栄村の大切な文化です。そんなふるさとの文化を子どもたちは地域の方から直に学んでいます。



絵手紙では各自が題材を持ってきて、それを見ながら筆を動かす子どもたちの姿がありました。野菜や果物を持ってきたり、中には野球チームに入っている子がグローブを見ながら描いている姿も見られました。

講師さんからは、「子どもたちは一生懸命描いていてとてもいい。思い切り個性を発揮して描いてほしい」との言葉が聞かれました。



地域講師のみなさんから

ふるさとの文化を学ぶ

～あんぼ、絵手紙のクラブ活動～

令和4年

11月22日



あんぼ作りでは、地域の方から具材の丸め方、生地のコね方等手ほどきを受けながら、友達と力を合わせて作業に取り組む子どもたちの姿が見られました。

地域講師さんは、「子どもたちがけがをしないように気をつけて教えています。あんぼは小さいころからよく食べていて、子どもたちにも伝えたいと思い来ました」と話してくれました。

高学年児童を中心に子どもたちが準備や片付けを率先して行い、自ら動いて取り組む姿が見られました。また、あんぼ作りや絵手紙への取り組みも積極的で、よいクラブ活動になりました。

地域講師の皆様、ありがとうございました。



栄村立栄小学校
ふるさと学習報告



大繁盛！

五宝木大根の販売

栄村では五宝木地区で栽培した大根を「五宝木大根」とブランド化し流通させています。3年生はその五宝木大根に目を向け、地域の方に教えてもらいながら畑で育てました。

先日収穫をし、保護者のみなさんに味わってもらいたいと、参観日に販売活動を行いました。学校の玄関には五宝木大根をPRする子どもたち、それに耳を傾け、大根を手取る保護者のみなさんの姿がありました。



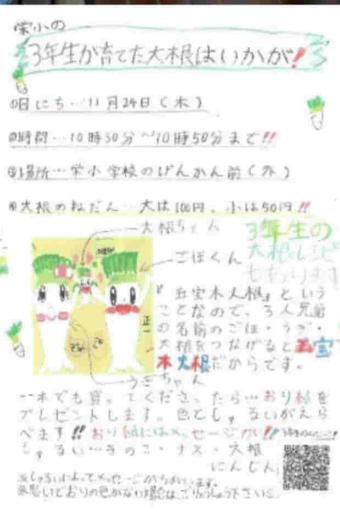
販売に先立ち、チラシを配ってお知らせをしました。チラシには「ごぼくん」「うぎちゃん」「大根くん」のキャラクターが描かれていて、つなぐと「ごぼうぎ大根」3兄弟となります。

看板を持って保護者の皆さんを出迎え、「大根買ってください！」と元気に呼びかけました。お買い上げのみなさんには、折り紙や大根料理のレシピがプレゼントされ、喜ばれていました。

値段は大が100円、中は50円で、保護者のみなさんがどの大根にするか選んで、3年生が袋に入れていました。互に「ありがとう」の感謝の言葉のやり取りがありました。たくさんの大根は完売しました。

保護者さんは、「実家のお土産に買いました。地域の農産物を自分たちの力で作ってみるのはすごくいい」と話していました。子どもたちは売り上げで、図書館の本など全校の友達に喜んでもらえるものを購入したいということです。

地域の特産物で3年生と保護者のみなさんがつながりました。



3年生

総合的な学習の時間

栄小学校 特色ある教育活動

【異学年合同活動】



雨で順延となったマラソン記録会、秋晴れのもと実施することができました。開会式でのめあての発表では、「今まで練習してきた成果を出したい」とやる気いっぱいの言葉が聞かれました。マラソン記録会を迎えるまでに、子どもたちは体育や元気の時間（全校体育）、休み時間などに走り、各自のマラソンカードに練習を記録して励んできました。

自分の記録に挑戦する

応援し合う

～選んでエントリー

全校マラソン記録会～

令和4年
11月25日



マラソンコース1周、2周、3周から、学年にかかわらず、個人の選択でエントリーしました。初めてのマラソン記録会の1年生の中にも3周にエントリーする子がいて、一人一人のめあてに沿って記録会に臨みました。



自分の力を精いっぱい出して走る子どもたちの姿がありました。また友達同士応援し合う姿もあり、温かな雰囲気のマラソン記録会になりました。

地域や保護者のみなさんにも多数応援に駆けつけていただき、子どもたちに温かい声援を送っていただきました。ありがとうございました。



閉会式の感想発表では、「初めてのマラソン大会に、2周を走れてうれしかった」「自分の全力を出せた」「本気を出して走った」と記録会の充実を語る言葉が聞かれました。

自分の力を出し切り、互いの頑張りを受け止め合う。そんなマラソン記録会になりました。

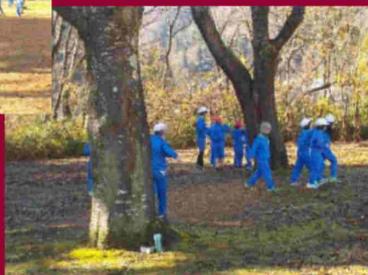


栄小学校 特色ある教育活動

【異学年合同活動】

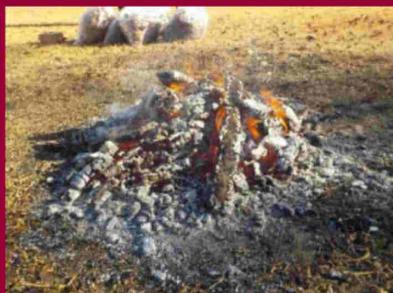


栄小学校には、「桐の葉グループ」との全学年が混じった異学年混合のグループがあります。全部で6つのグループがあり、朝の活動「桐の葉タイム」には、「もっと、もっと仲良くなろう」をテーマに活動しています。



遊びながら焚き火がおきになるのを待ちました。「みんなでやろう」と全グループがまとまり、「全校こおりオニ」をしました。30分ほどの時間、全校児童が入り混じってオニごっこを楽しみました。

その後イモをおきに入れました。この日はマラソン記録会があって、記録会の後に焼きあがりました。



桐の葉グループで深まる 異学年のかかわり ～縦割り班のやきいも会～

令和4年
11月25日



今回は桐の葉グループによる「全校やきいも会」を開きました。やきいもの収穫をきっかけに計画した会です。朝からサツマイモをアルミホイルでくるみ、準備をしました。桐の葉グループごとに、互いに教え合ったり、手を貸し合ったりして準備をした子どもたちでした。



新型コロナ対策から、やきいもは持ち帰りお家で食べます。「どんな味かな」と楽しみにする子どもたちでした。

異学年の交流が深まる全校やきいも会になりました。

栄小学校 特色ある教育活動

【ICT活用の二校合同学習】



4年生は泉台小学校4年生18名との合同道徳授業を実施しました。オンラインで二つの教室をつなぎ、「個性の伸長」について考え合いました。



金子みすゞさんの詩「みんなちがって、みんないい」、教科書の「児童の詩の感想」を読みあった後は、「自分らしさを出せるのはどんなときか」考え、授業支援アプリに入力しました。

「一輪車が得意だから友達に教えてあげられる」「家のお手伝いが得意だから、お母さんがたいへんなときに力を出したい」といった考えがあり、互いのクラウドのノートを見合う様子がありました。



長所を伸ばすことを 他校の友達と考える ～二校合同

オンライン道徳授業～

令和4年
11月29日



授業では、まず自分の得意なことと苦手なことを振り返りました。ある子は、「算数とキノコが苦手だけど一輪車に乗ることが得意」と考えていました。振り返りはクラウド型授業支援アプリで二校の児童で共有しました。



自分の苦手をプラスに見ることも考え、「給食に時間がかかる→その分よくかんで食べている」ととらえ直した子がいました。他校の4年生と合同の授業で、刺激を受け、多様な考えに触れることができた子どもたちでした。今後も合同授業の機会がもてればと思います。

栄小学校 特色ある教育活動

【異年齢交流学習】



3年生は小学校入学以来、下高井農林高校植物科学コース生と交流を継続してきています。3年生は農林高生との交流を楽しみにし、農林高生も3年生との交流を先輩から後輩へ引き継いできています。

下高井農林高校生徒との 農業を通じた交流

～3年生と農林高生 3年目の交流～

令和4年
12月12日



今回は、3年生にとって念願の農林高校での交流会でした。いっしょに大根（おでん大根という品種）を収穫し、水耕栽培による青々としたトマトの温室を見せてもらいました。



3年生からは、運動会や音楽会の歌やダンスを発表しました。その発表に、高校生一人一人が感想を伝えてくれました。その後は、楽しみにしていたドッジボールや重機体験、動物のえさやりです。高校生といっしょになって思いっきり楽しみました。



いつも3年生の目線で言葉がけや行動をしてくれる高校生。そのさりげない優しさに感謝と感動を覚えます。今年は同じ品種の野菜を作り、その生長を伝え合う学習をしてきました。野菜だけでなく、人としてもお互い成長が感じられた1年でした。感想をクラウドで交換しながら、交流のまとめをしていきます。

栄村のきれいなもの 写真展

総合的な学習の時間に、「栄村のきれいなものを写そう」のテーマで村内各所に出かけ、写真撮影をした児童がいます。写真は秋の栄村総合文化祭で発表し、地域の方々にも見てもらいました。ここでは児童が写した「栄村のきれいなもの」を紹介します。写真はホームページのトップ画像にも使われています。



道ばたの花(虫がいる)



近づいて撮った志久見川



夏に行くと涼しい大瀬の滝



学校花壇の花



遠足で行ったブナ林



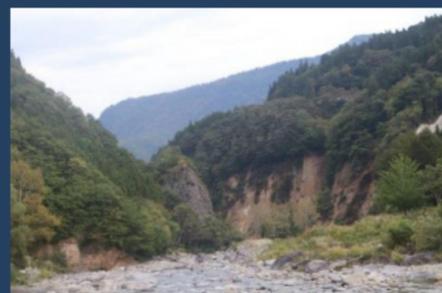
原向の金色の田んぼ



鳥甲牧場から見た苗場山



迫力のある布岩



谷にかこまれた中津川



撮影旅行で見つけたカマキリ



千曲川の上を飛ぶ鳥



千曲川川原の不思議な石

ぜひ栄村のきれいなものを見に出かけてみてください。(児童より)



栄村立栄小学校
ふるさと学習報告

地域食材であるジビエを食することで、野生動物との共生や命をいただくことについて学ぶ機会にしようと、昨年度に引き続いて「ジビエの話」と「ジビエ給食」を実施しました。

1月23日の「ジビエの話」では、狩猟や鳥獣肉加工を手がける村内のビーストキャプター合同会社・月岡健治さん、阿部浩子さん、NPO信州ツキノワグマ研究会・浜口あかりさんによる野生鳥獣の生態系に関する話を、本物の毛皮や頭骨などを見せてもらいながら聞きました。また、あわせてクマと出会わないコツも伝授してもらいました。毛皮を触らせてもらって、「カモシカの毛皮は柔らかい。気持ちがいい」と言いながら撫でていた児童がいました。

1月25日の「ジビエ給食」のメニューは、鹿肉のメンチカツでした。鹿肉は高タンパク、低脂質で、鉄分を多く含む健康的な食材です。児童からは食べた感想として、「鹿肉を味わって食べたらとてもおいしかった」「とてもジューシーだった」という声が聞かれました。

ふるさとの食材を通しての意義ある学びとなりました。

食育



動物との共生や命をいただくことを ジビエで学ぶ

～昨年度に引き続く

「ジビエの話」と「ジビエ給食」～

栄小学校 特色ある教育活動

【異学年交流活動】



栄小学校には、「桐の葉グループ」との異学年混合グループがあります。一年間活動してきて、桐の葉グループまとめの会では、目標の「桐の葉グループのみんなが、もっと仲良しになろう」について、一人ひとり、またグループや全体で振り返りをしました。



高学年児童には、「グループのみんなと何をやりたいか意見を出し合えたので、班の全員が楽しめたのかなと思います」と活動の成果を振り返る子がいました。互いの思いをまとめながら活動していく、そんなリーダーとして貴重な学びを得られたようです。全体の話し合いでも、グループ代表の発表に一心に耳を傾け、聴き入る子どもたちの姿がありました。また、発表の後には互いに拍手を送り合い、温かな雰囲気が生まれました。こういった姿や雰囲気は、一人ひとりの声に耳を傾けながら活動してきた桐の葉タイムがあったからこそでしょう。



1年間ありがとう

もっと、もっと仲良くなったね ～桐の葉グループまとめの会～

令和5年
2月16日



ある低学年児童は、「ドッジボールで特別ルールを作ってくれてよかったです」と振り返っていました。高学年と一緒にドッジボールは入りづらい時があったのですが、その思いを伝えたところ、低学年ルールができました。リーダーや集団に自分の思いを伝える、そんなフォロワーとしての学びを得ることができました。



ある6年生は、このように桐の葉グループの活動を振り返っています。「ときどき準備がたりなかったけど、やきいもなどの行事でいっしょに活動することができたことがうれしかったです。みんなの希望が通らないときもあったけど、学年ごとにやりたいことを聞いて活動することができました。遊びやゲームを通して、仲良くなれたのでよかったです」振り返りから、桐の葉グループに「聴き合う」かわりが生まれていたことがわかります。



令和4年度
栄村立栄小学校
ふるさと学習報告



ぽかぽか
栄温泉めぐりツアー
&
羊毛でキノコ作り

染め物アーティストの行橋智彦さん・ちぐささん夫妻と5年生は、2月21日、一日を共に過ごし、交流をしました。

午前中は温泉ツアーとして、行橋夫妻を百合居温泉と北野天満温泉、栄村の二つの温泉に案内し、共に足湯で温まりました。

5年生は栄村の温泉調査を進めてきており、今回は調査からわかったことをもとに、各温泉のよさや特徴を伝えました。



行橋さんには、「歴史や効能、おすすめポイントなどたくさん教えてもらった。マニアックな知識まで教えてもらっておもしろかった」と温泉ツアーを喜んでもらい、子どもたちは大満足でした。

午後は学校で、羊毛からキノコの形作りをしました。羊毛は栄村の温泉と草木で染めたオリジナルの色合いが出ているものです。

行橋さんに手ほどきを受け、会話をしながら楽しそうに活動する子どもたちの姿がありました。途中からは地域の方々も加わって、会場の図工室はたいへんにぎやかになりました。

行橋夫妻、子どもたち、地域のみなさん、みんなで和気あいあいと活動し、キノコの傘まで出来上がり、あとは各自進めることになりました。

「フワフワの羊毛がキノコの形になるなんてびっくりした」との感想とともに、行橋夫妻に感謝を告げ、お別れをした子どもたちでした。

栄村の温泉を通して人とつながり、かかわりを広げる5年生の姿があります。



5年生
総合的な学習の時間

栄小学校 特色ある教育活動

【異学年合同活動・ふるさと学習】

今シーズンの

クロススキー学習のまとめ

～栄小スキーフェスティバル～

令和5年
2月22日



今シーズンのクロスカントリースキー学習のまとめとして、「栄小スキーフェスティバル」を開催しました。校庭と学校隣の農村広場に作った特設コースの、1周、2周、3周から選んでエントリーし、学習の成果を発揮して滑りました。



天候に恵まれ、まぶしいほどの日差しの中、また前夜に降雪があり雪質も良く、好コンディションのもとのフェスティバルとなりました。たくさんの地域の皆様、保護者の皆様に応援に駆けつけていただき、声援を受けながら子どもたちは滑りました。北信保育園の園児さんも応援してくれて、力になりました。



滑る距離は個人で選択し、それぞれの距離にいろいろな学年の児童が混じって滑りました。子どもたちには自分のめあてに向かって滑ることができたようです。たくさんの「がんばれ！」の声援が校庭に響き、そんな中で楽しく、自分の力を精いっぱい出すことができました。



開会式では、「一生懸命滑ります」との選手宣誓が、閉会式では代表児童から、「一生懸命がんばった。みんなもがんばっていてよかった」「スケーティングをやって楽しかった」「なるべく歩かないという目標が達成できた」といった感想がありました。ふるさとの自然の中で、子ども、地域の皆様、保護者の皆様がつながる温かいスキーフェスティバルになりました。

栄小学校 特色ある教育活動

【異年齢合同活動・ふるさと学習】



栄小学校1年生と北信保育園年長児は、2回にわたって合同の活動を行いました。1回目は和紙に色を付け、2回目はその和紙の鑑賞をしました。和紙は、長野県北信地域の伝統工芸である「内山和紙」を用いました。



2回目は3月6日に合同で鑑賞を行いました。色を付けた和紙を広げ、見たり触ったりしてみました。「ザラザラしている」と和紙の手触りを感じている子もいました。ライトアップした和紙の鑑賞も行いました。光を通すことで見え方が異なることに気づき、「色が変わって見える」「模様が浮き出た」と驚いていました。



共に学び、活動する

栄小1年生と北信保育園年長児

～保小合同活動「ワクワクドキドキ すてきな色・形」～

令和5年
3月1日、6日



1回目の和紙への着色は、3月1日に行いました。1年生と年長児が混合のグループとなって、道具を貸し合ったり、声をかけ合ったりしながら活動しました。スポットを使う、チューブから押し出す、容器から垂らす等思い思いのやり方で色を付け、やり方の違いで色の広がり具合が異なる様子を楽しみました。



この合同活動は小学校の授業と保育園の制作活動とをつないだものです。互いの活動をつなぐことによって、異年齢のかかわりが生まれました。これは多様なコミュニケーションの力や協調性を育むことにつながります。また、子どもたちはふるさとの文化である「内山和紙」に触れ、その強さや美しさに触れることもできました。意義ある合同活動になりました。



令和4年度
栄村立栄小学校
ふるさと学習報告



栄村の郷土食

「ちまき」づくり

3月3日、4年生はちまきづくりを行いました。一年間ちまきにまつわる活動を進めてきて、念願のちまきを作る段階に到達しました。家庭科室には、相談しながら作業に取り組む4年生の姿が見られました。

まず、すげや笹を煮ることから始めました。今回用いるすげ、笹は地域から自分たちの力で探してとってきたものです。今日まですげは乾燥させ、笹は冷凍保存しておきました。

つぎに、もち米にきな粉をつけて笹でくるみ、それをすげで結びました。



ちまきの結び方は複雑で難しいです。やり方をよく知っている図書館司書の先生に教えてもらいながら結びました。

最後に、笹にくるんだもち米を60分間煮ました。

とうとう笹にくるまれたきれいなちまきが出来上がりました。ちまきを見ると、もち米、きな粉、笹、すげといった材料はすべて自分たちの力で育てたり、地元の栄村からとってきたりしたものです。情報を様々な方法で得ながら活動しました。

ちまきは給食のときに食べ、「すごくおいしい」と満面の笑みを見せていた子どもたちでした。自分たちの力で作ったちまきは特別なようで、記録に残したいと写真に撮って保存している子もいました。

「来年も作ってみたい」との声も聞かれました。ちまきを作りたいとの願いをもち、その実現を目指して活動し、達成することができました。今日のちまきにはそんな達成感込みのおいしさがあったのでしょうか。

充実したふるさと学習を展開している4年生です。

4年生

総合的な学習の時間